

長崎県年齢別推計人口調査結果(令和元年10月1日現在)

長崎県県民生活部統計課

1 県人口

令和元年10月1日現在の本県の推計人口は、1,325,205人(男622,573人・女702,632人)で、昨年と比べて14,233人(男6,622人・女7,611人)減少している。

年齢3区分別に見ると年少人口(0~14歳)が167,341人(県人口の12.7%)、生産年齢人口(15~64歳)が719,822人(同54.7%)、老年人口(65歳以上)が427,988人(同32.5%)となっており、総人口に占める割合を前年と比べると、年少人口は0.1ポイントの減少、生産年齢人口は0.6ポイントの減少、老年人口は0.6ポイントの増加となっている。

表1-1 県・市部・郡部人口の前年との比較 (単位:人)

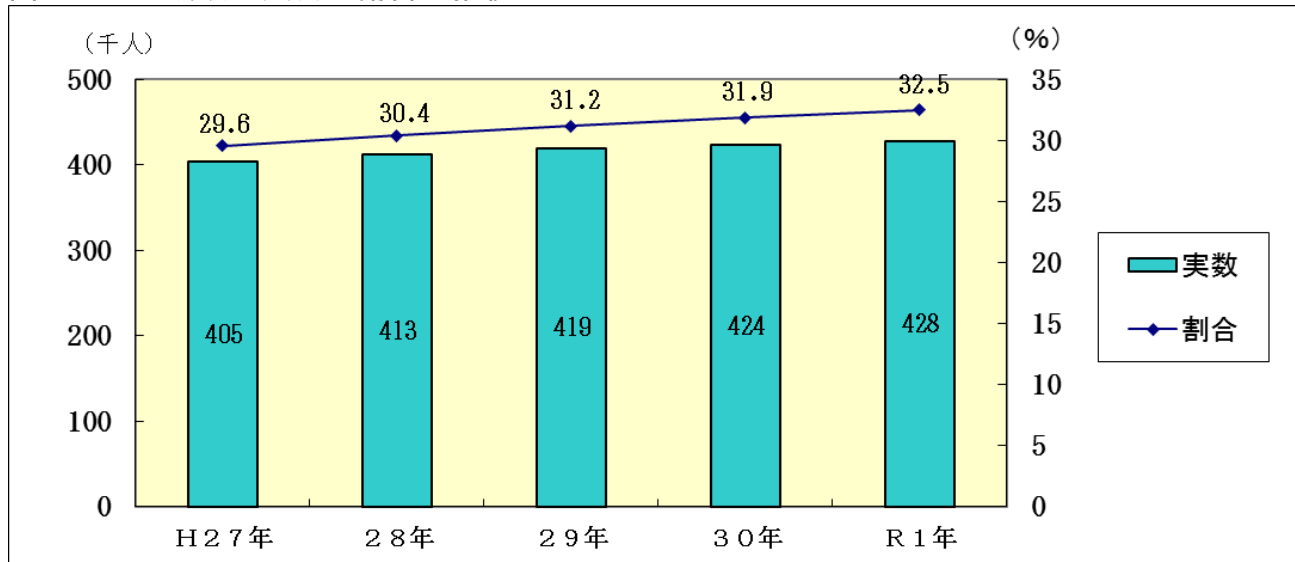
	令和元年10月1日			平成30年10月1日		
	計	男	女	計	男	女
長崎県計	1,325,205	622,573	702,632	1,339,438	629,195	710,243
市部計	1,184,236	555,715	628,521	1,197,007	561,728	635,279
郡部計	140,969	66,858	74,111	142,431	67,467	74,964

表1-2 年齢3区分割合の推移(各年10月1日現在) (単位:人、%)

	0~14歳		15~64歳		65歳以上	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合
27年	177,562	13.0	784,862	57.4	404,686	29.6
28年	175,084	12.9	768,673	56.7	412,690	30.4
29年	172,403	12.8	751,829	56.0	419,253	31.2
30年	169,989	12.8	735,484	55.3	423,907	31.9
R1年	167,341	12.7	719,822	54.7	427,988	32.5

注)割合は総数から不詳を除いて算出

図1 65歳以上人口と割合の推移



2 市部・郡部別人口

令和元年10月1日現在の本県の推計人口を市部・郡部別に見ると、市部人口は1,184,236人(男555,715人、女628,521人)、郡部人口は140,969人(男66,858人、女74,111人)で、前年と比べて、市部人口は12,771人の減少、郡部人口は1,462人の減少となっている。

県人口に占める割合は市部89.4%、郡部10.6%となっている。

年齢3区分を市部・郡部別に見ると、市部では年少人口が148,025人(市部人口の12.6%)、生産年齢人口が641,653人(同54.6%)、老年人口が384,810人(同32.8%)で、郡部では年少人口が19,316人(郡部人口の13.7%)、生産年齢人口が78,169人(同55.6%)、老年人口が43,178人(同30.7%)となっている。

また、年齢3区分を前年と比べると年少人口は市部で0.1ポイントの減少、郡部で0.2ポイントの減少、生産年齢人口は市部で0.6ポイントの減少、郡部で0.5ポイントの減少、老年人口は市部、郡部ともに0.7ポイントの増加であった。

表2 年齢3区分別推計人口

(単位：人、%、ポイント)

	0～14歳			15歳～64歳			65歳以上		
	人数	割合	対前年増	人数	割合	対前年増	人数	割合	対前年増
長崎県計	167,341	12.7	0.1	719,822	54.7	0.6	427,988	32.5	0.6
市部計	148,025	12.6	0.1	641,653	54.6	0.6	384,810	32.8	0.7
郡部計	19,316	13.7	0.2	78,169	55.6	0.5	43,178	30.7	0.7

3 市町別人口

県人口を市町別に見ると、長崎市が411,421人で最も多く、次いで佐世保市の246,950人、諫早市の134,503人と続いている。また、増減については、大村市(602人)、佐々町(84人)の1市1町で増加し、長崎市(4,998人)、佐世保市(2,678人)、南島原市(846人)、諫早市(782人)、雲仙市(744人)など12市7町で減少した。

表3 前年との増減数

増加(2市町)		減少(上位5市町)	
大村市	602	長崎市	4,998
佐々町	84	佐世保市	2,678
		南島原市	846
		諫早市	782
		雲仙市	744

4 老年人口

市町別に老年人口の割合を見ると、小値賀町(49.4%)が最も多く、以下新上五島町(41.6%)、平戸市(40.8%)、五島市(40.4%)、南島原市(40.0%)、西海市(38.2%)、壱岐市(37.9%)、対馬市(37.5%)と続き、17市町が30%を超えている。

一方、最も低いのは大村市(25.1%)で、次いで時津町(26.2%)、長与町(26.7%)、佐々町(28.0%)と続いており、全ての市町で前年と比べ、老年人口の割合は上昇している。

表4 老年人口の割合

(単位：%)

割合が高い上位5市町		割合が低い上位5市町	
小値賀町	49.4	大村市	25.1
新上五島町	41.6	時津町	26.2
平戸市	40.8	長与町	26.7
五島市	40.4	佐々町	28.0
南島原市	40.0	諫早市	30.2

表 5 - 1 市町別の年齢（3区分）別人口と割合

(単位:人、%)

市 町 名	総 数	人 口				割 合		
		0-14 歳	15-64 歳	65 歳以上	不詳	0-14 歳	15-64 歳	65 歳以上
長 崎 県 計	1,325,205	167,341	719,822	427,988	10,054	12.7	54.7	32.5
市 部 計	1,184,236	148,025	641,653	384,810	9,748	12.6	54.6	32.8
郡 部 計	140,969	19,316	78,169	43,178	306	13.7	55.6	30.7
長崎市	411,421	47,220	226,132	131,401	6,668	11.7	55.9	32.5
佐世保市	246,950	32,230	135,850	77,051	1,819	13.1	55.4	31.4
島原市	43,553	5,567	22,605	15,349	32	12.8	51.9	35.3
諫早市	134,503	18,193	75,674	40,612	24	13.5	56.3	30.2
大村市	95,062	15,219	55,788	23,764	291	16.1	58.9	25.1
平戸市	29,577	3,468	14,045	12,054	10	11.7	47.5	40.8
松浦市	21,856	2,758	11,047	8,033	18	12.6	50.6	36.8
対馬市	29,337	3,467	14,852	11,009	9	11.8	50.6	37.5
壱岐市	25,506	3,351	12,483	9,669	3	13.1	48.9	37.9
五島市	34,960	3,744	17,026	14,072	118	10.7	48.9	40.4
西海市	26,777	2,869	13,286	9,969	653	11.0	50.9	38.2
雲仙市	41,728	5,097	21,956	14,647	28	12.2	52.7	35.1
南島原市	43,006	4,842	20,909	17,180	75	11.3	48.7	40.0
西 彼 杵 郡	71,005	10,555	41,514	18,776	160	14.9	58.6	26.5
長与町	41,630	6,007	24,403	11,086	134	14.5	58.8	26.7
時津町	29,375	4,548	17,111	7,690	26	15.5	58.3	26.2
東 彼 杵 郡	35,814	4,583	19,213	11,908	110	12.8	53.8	33.4
東彼杵町	7,792	846	4,020	2,923	3	10.9	51.6	37.5
川棚町	13,528	1,738	7,280	4,425	85	12.9	54.2	32.9
波佐見町	14,494	1,999	7,913	4,560	22	13.8	54.7	31.5
北 松 浦 郡	16,142	2,511	8,613	5,016	2	15.6	53.4	31.1
小値賀町	2,316	195	976	1,145	0	8.4	42.1	49.4
佐々町	13,826	2,316	7,637	3,871	2	16.8	55.2	28.0
南 松 浦 郡	18,008	1,667	8,829	7,478	34	9.3	49.1	41.6
新上五島町	18,008	1,667	8,829	7,478	34	9.3	49.1	41.6

割合は総数から不詳を除いて算出

表5 - 2 市町別の年齢構成指数

市町名	年 齢 構 成 指 数			
	年少人口指数	老年人口指数	従属人口指数	老年化指数
長崎県計	23.2	59.5	82.7	255.8
市部計	23.1	60.0	83.0	260.0
郡部計	24.7	55.2	79.9	223.5
長崎市	20.9	58.1	79.0	278.3
佐世保市	23.7	56.7	80.4	239.1
島原市	24.6	67.9	92.5	275.7
諫早市	24.0	53.7	77.7	223.2
大村市	27.3	42.6	69.9	156.1
平戸市	24.7	85.8	110.5	347.6
松浦市	25.0	72.7	97.7	291.3
対馬市	23.3	74.1	97.5	317.5
壱岐市	26.8	77.5	104.3	288.5
五島市	22.0	82.7	104.6	375.9
西海市	21.6	75.0	96.6	347.5
雲仙市	23.2	66.7	89.9	287.4
南島原市	23.2	82.2	105.3	354.8
西彼杵郡	25.4	45.2	70.7	177.9
長与町	24.6	45.4	70.0	184.6
時津町	26.6	44.9	71.5	169.1
東彼杵郡	23.9	62.0	85.8	259.8
東彼杵町	21.0	72.7	93.8	345.5
川棚町	23.9	60.8	84.7	254.6
波佐見町	25.3	57.6	82.9	228.1
北松浦郡	29.2	58.2	87.4	199.8
小値賀町	20.0	117.3	137.3	587.2
佐々町	30.3	50.7	81.0	167.1
南松浦郡	18.9	84.7	103.6	448.6
新上五島町	18.9	84.7	103.6	448.6

全 国	20.4	47.2	67.6	230.8
------------	-------------	-------------	-------------	--------------

「全国」 - 総務省統計局「人口推計」平成30年10月1日現在

年少人口指数	老年人口指数	従属人口指数	老年化指数
$= \frac{0-14歳人口}{15-64歳人口} \times 100$	$= \frac{65歳以上人口}{15-64歳人口} \times 100$	$= \frac{(0-14歳人口) + (65歳以上人口)}{15-64歳人口} \times 100$	$= \frac{65歳以上人口}{0-14歳人口} \times 100$

各指数は分母の年齢の人100人に対し分子の年齢の人が何人いるかを表している。

例えば従属人口指数は、15-64歳の生産年齢人口100人に対して、0-14歳また65歳以上の従属人口が何人いるかを表し、働き手が支えている働いていない人の数の参考などに用いられている。